



4月1日 職員に辞令を交付いたしました

ごあいさつ

令和6年4月3日

この春、卒園、卒業を迎えられた皆さん、そして、入園、入学、就職など新たな一歩を踏み出された皆さん、おめでとうございます。多くの出会いと経験が、皆さんの輝かしい未来を切り拓いていくことを心からお祈り申し上げます。

令和6年度がスタートしました。

4月1日、野々市市役所でも異動職員と新規採用職員に対し辞令を交付いたしました。「最近の若い人は・・・」なんて、私も含めて昭和世代の方はつい言ってしまいがちですが、新規採用職員から元気はつらつな宣誓をもらい、とても嬉しく、そして頼もしく思いました。

今年の年明けから、中年男性が「昭和」の時代から「令和」へとタイムスリップし、価値観の違いに戸惑いながらも、それぞれの時代の良し悪しをコミカルに描いたドラマが流行りました。

私も含め、昭和、平成を経験した世代にとっては、令和の時代は少し窮屈に感じてしまうこともあります。逆に、若い方にとっては、とくに働き方などで、昭和の時代は厳しく映ることもあるかと思えます。

このドラマは、それぞれの時代の価値観を対比しながら、時には他者に対して「寛容」であることの必要性を説いています。世代は違えど同じ時代を生きる仲間として、互いを認め合い、協力していくことが、職場でも、家庭でも、そして、まちづくりでも必要なことであると思えます。

私も若い皆さんからエネルギーをいただき、令和の時代を日々「アップデート」しながら頑張っていきたいと思えます。

3月23日から2日間、東京・八重洲の石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」で「石川県野々市市チャリティDay～令和6年能登半島地震復興支援イベント～」を開催しました。野々市ブランド認定品の販売や、応援に駆けつけてくださった野々市ゆかりの方々とのトークショーなど、多くの皆さんにご来場いただきました。お越しいただいた皆様に心から御礼申し上げます。

売上金の一部は災害義援金として能登の被災地へ贈らせていただきます。